

COLLAGE AND PHOTOMONTAGE

2006 11.3 fri. → 12.17 sun.
 東京都写真美術館 3階展示室
 恵比寿ガーデンプレイス内

開館時間●10:00-18:00(木・金は20:00、入館は開館の30分前まで) 休館日●毎週月曜日
 主催●東京都/東京都写真美術館/読売新聞東京本社/美術館連絡協議会 協賛●花王
 観覧料●一般500(400)円 学生400(320)円 中学生・65歳以上250(200)円 ()は20名以上の団体
 小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料
 第3水曜日は65歳以上無料 東京都写真美術館友の会会員は無料

コラージュと フォトモンタージュ展

コラージュと フォトモンタージュ展

COLLAGE AND PHOTOMONTAGE

- 1.ラスロ・モホイ＝ナジ「レール上の殺人(隣人を愛せよ)」1925年
- 2.鳩田美子「お茶と同情」1995年
- 3.ギュスターヴ・グレイ「海景」1856-1859年
- 4.小石清「詭計夢・疲労感」1936年
- 5.草間彌生「かばちとどが子の思い出」1975年
(東京都現代美術館 所蔵)
- 6.ヘンリー・ピーチ・ロビンソン「夜明けと日没」1885年



お気に入りの広告写真を切り抜いて画用紙に貼り合わせる。そんな遊びをした経験はありませんか。これはコラージュという美術の技法の一つなのです。17世紀ごろから紙や布、羽や動物の皮などさまざまなものを貼り合わせて作品にするという事は行われていました。写真が発明されてからは、コラージュ作品の多くに写真が使われるようになり、ネガやプリントを組み合わせて、一枚の写真のようにするフォトモンタージュという技法もできました。写真を合成することで難しい描写を可能にしたり、本来なら同じ画面にあり得ないものを並べることで、新しいメッセージを生み出したり、超現実的な世界を表現したりすることができます。またコラージュやフォトモンタージュは写真家だけではなく、他の美術の分野の作家にも広く取り入れられてきました。

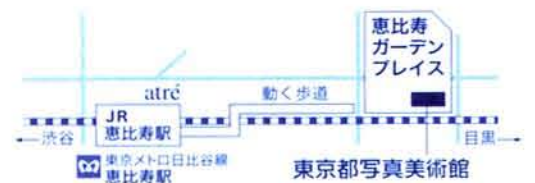
本展は19世紀なかばから20世紀末まで写真がコラージュやフォトモンタージュにどの様に利用されてきたのかをたどりながら、その意味や表現の魅力を捉え直す展覧会です。

担当学芸員による展示解説

会期中第2・4全曜日午後2時より展示解説を行います。
 展覧会チケットをお持ちの上、会場入口にお集りください。

カフェ・トーク

- 12月2日(土) 17:00~19:30 講師: 柏木博(デザイン評論家)
 - 12月9日(土) 17:00~19:30 講師: 横山勝彦(練馬区立美術館 学芸員)
- 場所: 2階カフェ・シャンブルクレール
 定員: 各回 35名 参加費: 1500円(展覧会チケット/ドリンク付き)
 申込み方法など詳細は東京都写真美術館のホームページでご確認ください。



東京都写真美術館
 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
 恵比寿ガーデンプレイス内
 Tel.03-3280-0099 / URL: http://www.syabi.com
 JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。当館には専用の駐車場がございます。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。